

## 平成 29 年度かっこ海外交流訪問団派遣事業（報告）

### ◆ 渡航日程

7月30日（日）～8月8日（火）

オーストラリア滞在は、7月31日（月）～8月7日（月）の8日間

### ◆ 渡航メンバー

（1）市内在住の中学生・高校生 12名

内訳	男	女	中1	中2	中3	高1	高2	高3
人数	2	10	2	2	3	1	3	1

（2）引率ボランティア 1名（佐藤 誠）

（3）観光交流課職員 2名（齊藤 裕未、井野 志哉）

### ◆ 自己負担費用

（1）学生 200,000 円

（2）引率ボランティア 100,000 円

## 平成29年度 可児市かっこ海外交流訪問団派遣事業 実施要項

### 1. 概要

可児市の子どもたちが気軽に海外を訪問し、現地の人々と触れ合う機会を提供すること、また国際的な感覚と幅広い視野を持ち、物怖じせずコミュニケーションできる人材を育成することを目的とし、中学生及び高校生をオーストラリア レッドランド市に派遣する。ボランティアによる引率も公募により1名選出し、職員とともに引率を行う。

### 2. 派遣先

オーストラリア レッドランド市および周辺都市

### 3. 派遣日程

平成29年7月30日（日）～ 8月8日（火）の10日間

### 4. 内容

ホームステイ・観光・自然学習・学校体験（授業参加）等

### 5. 対象・定員

市内在住の中学生・高校生 15名  
市内在住の引率ボランティア（18歳以上） 1名

### 6. 個人負担金

中学生・高校生 20万円  
引率ボランティア 10万円  
※燃油サーチャージ、パスポート取得代、海外旅行保険代、その他  
現地での個人にかかる経費は含まない。

### 7. 募集・応募

広報、ホームページ等で公募し、参加希望者は所定の申込用紙に記入し、郵送又は持参により応募する。

### 8. 選考・決定

書類選考通過者のみ、面接を行い選考する。

### 9. 日程

・ 募集期間	4月1日（土）～4月28日（金）
・ 追加募集期間	5月2日（火）～5月15日（月）
・ 面接日	5月28日（日）
・ 説明会	6月18日（日）
・ 研修会①	6月30日（金）
・ 研修会②	7月13日（木）
・ 研修会③	7月26日（水）
・ 市長表敬訪問	7月26日（水）
・ 渡航	7月30日（日）～8月8日（火）
・ 帰国報告会	8月20日（日）

## 行程表

日	日付	行 程
1	30 日 (日)	6:00 市役所集合 6:30 市役所発:バスにて中部国際空港へ(8:30 到着) 11:00 タイ航空(TG645 便)にて、バンコクへ(1食付) 現地時間 15:00 バンコク到着後、乗継のため空港滞在 日本時間(17:00) 空港内で食事、散策、仮眠 現地時間 00:01 タイ航空(TG473 便)にて、ブリスベンへ(1食付) 日本時間(2:01) <p style="text-align: right;">( 機内 泊 )</p>
2	31 日 (月)  レッド ランド	現地時間 11:50 ブリスベン空港着/入国手続き 日本時間(10:50) 13:30 総領事館表敬訪問(ブリスベン) 15:00 クリーブランド高校到着後、ホストファミリー紹介 <p style="text-align: right;">( ホームステイ 泊 )</p>
3	1 日 (火)  レッド ランド	8:30 登校 10:00 レッドランド市役所表敬訪問 10:30 市役所周辺観光(徒歩) 12:45 クリーブランド高校の授業に参加 15:00 各ファミリーによる送迎でホスト先へ <p style="text-align: right;">( ホームステイ 泊 )</p>
4	2 日 (水)  レッド ランド	8:00 登校 AM・PM クリーブランド高校の授業に参加 15:00 各ファミリーによる送迎でホスト先へ <p style="text-align: right;">( ホームステイ 泊 )</p>
5	3 日 (木)  ゴールド コースト	7:00 登校 9:00 カランビンリバーカヤックツーリング(野生動物探索) 12:00 ゴールドコースト、デービッドフレイ野生動物公園 17:00 各ファミリーによる送迎でホスト先へ <p style="text-align: right;">( ホームステイ 泊 )</p>

6	4日 (金)  ブリスベン	7:30 登校 9:00 モギルコアラ病院訪問 11:00 インドロピリーショッピングセンターへ【自由昼食】 12:30 クイーンズランド大学見学 15:30 フェアウェルパーティー(市役所) 17:00 各ファミリーによる送迎でホスト先へ (ホームステイ 泊)
7	5日 (土)  ノース ストラド ブ ロック 島	7:45 登校 9:00 フェリー乗船、ノースストラドブロック島へ 10:00 大学講師によるサイエンスキャンプ (海洋生物・野生動物探索、マリンサイエンス研究体験) 16:00 フェリー乗船、クリーブランドへ 17:00 クリーブランド高校ホストファミリー迎え (ホームステイ 泊)
8	6日 (日)  ブリスベン	7:30 ホストファミリーの送迎により市役所前集合 徒歩にてクリーブランドマーケット訪問【自由昼食】 11:30 バスでブリスベン市内のホテルへ 13:30 サウスバンクで自由行動 (ホテル 泊)
9	7日 (月)  ブリスベン	8:00 ホテルにて朝食 ブリスベン市内観光 11:00 ブリスベン空港へ(12:00 到着)【自由昼食】 現地時間 14:00 タイ航空(TG474便)にてバンコクへ(1食付) 日本時間(13:00) 現地時間 20:20 バンコク到着後、乗継のため空港滞在 日本時間(22:20) (ホームステイ 泊)
10	8日 (火)	現地時間 00:05 タイ航空(TG644)にて中部国際空港へ(1食付) 日本時間(02:05) 8:00 着後入国し、バスにて可児市役所へ 10:30 可児市役所到着(予定)

## 1日目 7月30日 日曜日

中部国際空港を出発し、タイ経由（バンコク）でブリスベン空港へ。



中部国際空港にて出国手続き前の集合写真



タイのスワンナブーム空港で9時間待機

## 2日目 7月31日 月曜日

### ◆在ブリスベン日本国総領事館表敬訪問

総領事の柳井啓子氏に、訪問団としての抱負を1人ずつ報告した。また、可児市についてどんなまちかを質問された際は、花の多いまちであること、花フェスタ記念公園などがある、など説明した。



領事館にて緊張しながら総領事の話をしている

### ◆ホストファミリーと対面

クリーブランド高校に到着し、それぞれのホストファミリーと対面した。男性は1人につき1家庭、女性は2人につき1家庭に割り当てられた。そのままホストファミリーの車で各家庭に帰って行き、ホームステイ生活が始まった。



生徒とホストマザー



生徒とホストマザーとブラザー

### 3日目 8月1日 火曜日

#### ◆学校内見学

各自弁当を持たせてもらい、ホストファミリーの車で登校した。オリエンテーションで学校生活やホストファミリーでのルールの説明があり、その後校内の見学をした。各教室や美術室、音楽室、演劇室、技術室、ジム、運動場、図書館、農場などを見て回った。農場では羊が飼育されていた。



留学担当スタッフによるオリエンテーション



技術室で作品を見せてもらう



運動器具が揃ったジム室

#### ◆レッドランド市役所表敬訪問

クリーブランド高校から徒歩でレッドランド市役所に向かった。市長代理のウェンディ・ボグラリー副市長の歓迎挨拶及びレッドランド市についての紹介後、生徒から質問を投げかけた。数名の市職員や議員も出席し、生徒たちはモーニングティーと共に会話を楽しんだ。



レッドランド市役所の前で集合写真



各議員の席に座り、話を聞く様子

#### ◆インディジスケープセンター見学

オーストラリアの固有の植物や虫などの生態系を学ぶ事ができる、植物園を見学した。センターの職員に案内してもらい、オーストラリアの植物を使って作ったイギリス風の庭園や、チョウチョを寄せ付ける庭園など、様々なテーマに分けられた庭園や、ブッシュタカー（Bush Tucker）と呼ばれる食べられる植物・虫などについて教えてもらった。



野生動物による多数の引っ掻き傷の説明



センターのロゴマークになっている花

#### ◆クリーブランド高校体験入学（1日目）

クリーブランド高校は、レッドランド市で唯一国際的認可団体（C I S : 国際学校協議会）の認定を受けていて、クイーンズランド南東地区で最も人気が高い中高一貫校（Year 7～Year 12）である。アート、言語、スポーツに特に力を入れており、農業、科学などの特別プログラムもある。平成25年に可児工業高校と姉妹校提携を締結した。日本語を勉強している学生が、可児市に過去3回訪れている。

各生徒は、バディというクリーブランド高校の同年代の生徒が割り当てられた。学校体験1日目の午後はバディと昼食を食べた後、バディが実際受けている授業（数学、理科、日本語、体育等）にそれぞれ付いて行き、授業に参加した。



かにっこを迎えに来たバディ



日本語の授業に参加する生徒

## 4日目 8月2日 水曜日

### ◆クリーブランド高校体験入学（2日目）

学校体験2日目のカリキュラムは以下の表のとおりである。

1 限目		モーニングティー	2 限目	3 限目	昼食	4 限目
8:40-10:00		10:00-10:25	10:25-11:35	11:35-12:45	12:45-13:30	13:30-14:40
パディの授業	日本語	パディとおやつを食べる	日本語	ブーメランペインティング	パディと昼食を食べる	英語&日本語

オーストラリアには、「モーニングティー」という時間があり、日本でいう10時のおやつ時間に当たる。職場や家庭でも取り入れているところもある。空腹を満たし、昼食前の授業や仕事を集中して臨むことができる。

日本語の授業では、日本語や英語でそれぞれ自己紹介や質問などを投げかけ合った。グループになり、メンバーと話合いながら答えを見出した。授業はゲームやビデオをよく使い、生徒は自由に楽しみながら学んでいた。ブーメランに絵を描く授業では、先住民のアボリジニ特有の文字や記号を学び、それを元にオリジナルの作品を完成させた。



三角形のパズルを使い、日本語と英語を組み合わせている



質問をして誰の持ち物が当てるゲームをしている



先生が出す4択問題を、生徒がPCで解答して競う(kahoot)



ブーメランペインティング生徒作品↓



**5日目** 8月3日 木曜日

◆カヤックによる野生動物探索

バスで上流地点まで行き、そこからカヤックに乗って4キロのなだらかな川を、2時間ほどかけてゆっくり下った。川からは野生のコアラを2匹見つけることができた。また、日本では見ることのできないカラフルな野生のインコや野鳥や、オオコウモリ大量の群れを見ることができた。野生動物の生態を学ぶことができた。



2人一組で協力してカヌーを漕いでいる



オオコウモリ 英名 Frying Fox (飛ぶキツネ)

◆デービッドフレイ野生動物公園見学

約50年前、世界で初めて人工的にカモノハシの繁殖に成功したことで有名なデービッドフレイ博士が創立した、公立の動物園。動物園といっても、ガラス張りではなく、実際の自然環境を再現しており、動物を間近で見ることができた。コアラ、カンガルー、ウォンバット、エミュー、クロコダイルなどの固有の動物や、カモノハシ、クォール、シュガーグライダー、ビルビーなど絶滅の危機に陥っている動物を夜行性動物観察所で見ることができた。



ヘビを触る生徒



間近で見る鳥のショー



ワラビーやカンガルーが間近で見られる

## 6日目 8月4日 金曜日

### ◆モギルコアラ病院見学

病気や怪我、孤児のコアラを收容し、治療及び世話をしている、クイーンズランド州唯一の公立のコアラ病院である。一般に公開されていない施設であるが、特別に見学をさせてもらった。研究室では、たった1cm程の産まれたばかりの赤ちゃんのホルマリン漬けや、癌の腫瘍ができたコアラの骨を見せてもらった。それ以外にも、目の病気や、膀胱の病気、様々な病気、ストレスによってコアラが苦しんでいることや、住宅や商業施設の開発などでユーカリの森が減少し、ユーカリが食料であり住処であるコアラにとっては行き場がなくなっていることを学んだ。約700種類のユーカリが存在する中、コアラはそのうちの20種類程度しか食べなく、またコアラによって好み異なるため、飼育するのにかなり労力がかかっているとのことだ。



コアラの救急車



入院中のコアラ



病院長アラン・マッキソン氏の解説を聞いている

### ◆インドロピリーショッピングセンター訪問

ブリスベンの西エリア最大のショッピングモールである。フードコートで、それぞれの店で、自力で食事を注文するという体験をした。カレーやハンバーガー、ラーメンなどを注文していた。昼食後は1時間ほど自由にモール内を見学した。



フードコート内でハンバーガーを食べている

#### ◆クイーンズランド大学見学

世界大学ランキングで常に上位にランクインしている名門大学。学生数は約5万人である。日本の大学とは比べ物にならないくらい広大なキャンパスは、街のようになっており、学生寮はもちろん、多数の図書館、レストラン、カフェ、バー、ショップや美容院などが立ち並んでいる。ショップで買物をするなどして、わずかながらであるが大学生活を味わった。



校舎の前で



授業風景を見学

#### ◆フェアウェルレセプション（送別会）

レッドランド市役所に、市職員、議員、クイーンズランド高校教頭が集まった。生徒代表で、田牧日菜子さんがお礼の挨拶をした。その後は、用意されたお菓子を食べながら、自由に歓談をした。予め用意した質問を投げかけたり、ウェルカムパーティーの時と比べると、より堂々と自信を持って積極的に話かけていた。



議員代表の話を聞く様子



お礼の挨拶スピーチをする田牧さん



議員と積極的に話をする生徒



おなじみの「カーニー」で集合写真

## 7日目 8月5日 土曜日

### ◆ノースストラドブローク島訪問

世界で2番目に大きな砂の島である。鳴き砂と呼ばれる白い砂浜と、透き通る青い海が特徴的で、レッドランド市が誇る観光スポットである。島内では固有の動物や植物をたくさん見ることができる。訪問団はバスのままフェリーに乗って1時間弱かけて島に到着した。前半はクイーンズランド大学の講師の指導のもと海洋生物研究体験を行った。クジラやイルカ、貝などの海洋生物の生態についての説明を受け、岩場で実際に貝やイソギンチャクなどの海洋生物を観察した。双眼鏡を使って実際にイルカやクジラ、海ガメを見ることができた。更に島内を散策をし、1頭のカンガルーや野生のコアラを何匹か見つけた。幸運にも、イルカとコアラについては、かなり間近で見ることができた。



大学の講師にテキストを使い説明を受けている



岩場の水たまりで生物を観察している



海岸ではしゃぐ生徒たち



エメラルド色の青い海と白い砂浜



数メートル先にイルカの群れがやってきた



コアラが下の方まで降りてきた

## 8日目 8月6日 日曜日

### ◆クリーブランドマーケット見学

クリーブランド高校に送迎してもらった後、ホストファミリーとお別れの挨拶をし、徒歩で毎週日曜日に開かれる朝市「クリーブランドマーケット」を見学した。大通りが歩行者天国になっており、珍しい野菜やフーツを売る店や、絵画や雑貨、植物や食べ物など、様々な店が立ち並び、生徒たちは自由に食べ歩きや買物を楽しんだ。



高校前でホストファミリーにお礼の挨拶をしている



雑貨店で小物を見ている



地元議員と会話としている



抹茶シロップの試飲をしている

### ◆ブリスベン市内観光

前半は、サウスバンク（South Bank）を中心に、自由散策を行った。サウスバンクは、ブリスベンの中心街から南のほうに位置し、ブリスベン川を渡ったエリアである。観覧車や博物館、美術館、劇場などの建物が並び、また街並みは現代的なアートに飾られ、真白な砂浜が敷き詰められている人口のビーチもある。2つのグループのうち、1つのグループはそのサウスバンクにある博物館を主に見学した。

後半は、高層ビルが立ち並ぶブリスベンのビジネス街にある、クイーンズストリートモール（Queen Street mall）という商店街で、行動範囲を制限し、自由行動にした。高級ブランド店やお土産屋、カフェやレストランが立ち並んだ通りで、ミュージシャンの生演奏なども

行われ、賑わいを見せていた。生徒はここでたくさんのお土産を買うことができた。夜は宿泊するホテルで夕食を食べた後、ブリスベンの夜景を見に全員で散策に出かけた。観覧車に乗ったり、プレイパークの遊具で遊ぶなどした。



オブジェ『BRISBANE』の前で



ブリスベンの街中にある水遊び場



クイーンストリートモールでのライブミュージック



夜のまち散策

## 9日目 8月7日 月曜日

ホテルで朝食後、クイーンストリートモール商店街で1時間ほど散策し、空港に向かった。



ホテルでの朝食（ブッフェ）



クイーンストリートモールにて

## 10日目 8月8日 月曜日

ブリスベン発、タイ空港経由で中部国際空港に到着。バスにて市役所へ。